

ぴっくす

まちの話題



『演歌歌手の南里美さんが回生園を訪問』

7月31日(木)特別養護老人ホーム回生園に宮崎県南郷村出身の演歌歌手の南里美さんがボランティアとして訪れました。南さんは全国の施設を訪問しており、今回で1,870か所目になるそうで、日本ボランティア賞や各県知事賞、厚生労働大臣賞などをいただいているそうです。

この日は、入所されている約40名の方が南さんの歌に聞き入り、一緒に口ずさむ方、なかには涙を流されている方もいらっしゃいました。曲目は、夫婦棧橋・大阪マンボなど13曲を熱唱しました。

南さんが、この活動を始めたのは、静岡県で11年前に施設を訪れたとき、84歳のおばあさんが、日ごろテレビでしか見ることのできない歌手を目の前で見られて、たいへん感激されたのがきっかけだということでした。



『少年剣士が健闘しました』

大崎町総合体育館で8月7日(木)、町剣道連盟の主催で第29回大崎町七夕祭剣道大会が開催されました。

この日は、町内外から146チームの参加があり、小学校低学年から中学生までの剣士たちが、白熱した戦いを繰り広げました。

小学校低学年の部では、大崎武道館チームが最優秀賞を獲得するなど、日頃の練習の成果が表れたようです。



『きもの着付選手権大会で優勝!』

7月21日に、大阪市の中央公会堂で開催された第31回全日本きもの着付選手権大会の『留袖シニアの部』で、中郷集落の久保良子さんが見事優勝を飾りました。おめでとうございます。

この大会は、全国12ブロックの各地区大会で予選を勝ち抜いた生徒たちによって競われ、『きもの着付の女の甲子園』として『礼を似てはじまり、礼を似て終わる』という日本礼美協会・日本和装学園の基本理念に基づいて実施されています。

溝口千恵子学園長は、「きもの着付けや作法を教えることで、日本の伝統『和の心』を若い方々にも知っていただけるように、日夜努力しております。」と話してくださいました。

